

「接遇・マナー研修（新規職員向け）」開催要領

研修番号
1

1. テーマ

「心を込めた応対をしよう」

2. 講師

株式会社 Woomax 松本 理恵 氏

株式会社 Woomax プロフェッショナルパートナー講師

ICP コーチング認定コーチ、一般社団法人 Viha-la Yoga 協会代表理事

人材教育の研修講師として、明確な理論とわかりやすい教え方で受講生から指示を集めている。

また、心と身体の調和、精神自立と経済的自立をテーマに、キャリア開発・社員教育・コミュニケーション講座など、担当プログラムは多岐に渡り全国で活動する。

3. 開催日時及び会場

【日時】平成29年6月1日（木） 午前10時～午後4時

【会場】名古屋市高齢者就業支援センター 大会議室

（名古屋市昭和区御器所通3-12-1 御器所ステーションビル5F
最寄駅：地下鉄 鶴舞線・桜通線「御器所」駅）

4. 定員及び対象者

【定員】100名

【対象者】障がい福祉施設および高齢者福祉施設に勤務する職員で

採用後おおむね1～2年の職員

5. ねらい

施設職員は利用者のみならず、家族や地域住民、行政や関係各所などさまざまな人と日々接し、業務を円滑に進めることが求められる。このためには良い人間関係を築くことが不可欠で、関係構築の第一歩に接遇・マナーがある。

本研修では、基本的な接遇・マナーを学び、心を込めた応対を身に付けることを目指します。

6. 日程

9:30	10:00	12:00	13:00	16:00
受付	<講義・演習> 接遇・マナーとは 第一印象 挨拶 敬語	休憩	<講義・演習> 電話応対 名刺 顧客満足(CS) アサーション	

※一部内容を変更する場合があります。

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

裏面へ続きます

7. 申込期限

平成29年5月10日（水）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。(<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>)

名古屋市社協 と 在宅福祉部 で検索。

詳細は別紙「申込方法のご案内」をご覧ください。

※5月15日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

「社会福祉法人会計基礎研修Ⅰ」開催要領

研修番号

2

1. テーマ

「社会福祉法人の会計事務の基礎
～社会福祉法・社会福祉法人会計基準に則った法人運営～」

2. プログラム及び講師 ※プログラムを分けて実施します。テキストは、5. 参加費をご確認ください。

【Aコース…会計実務担当職員のうち初任者および初級者向け】

講義・演習

テーマ「社会福祉法人会計基準に則った会計実務 ～簿記の基礎～」

講 師 田中会計事務所 税理士 吉野 縫子 氏

【Bコース…法人・施設の経営に携わる方(役員監事・施設長・事務長など)向け】

講義・演習

テーマ「社会福祉法改正に伴う会計事務の注意点
～決算書の読み方、社会福祉充実残額・計画、情報開示システムなど～」

講 師 田中会計事務所 税理士 吉野 仁 氏

3. 開催日時及び会場

【日 時】平成29年6月5日(月) 午前10時～午後4時

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室、研修室

(名古屋市北区清水4-17-1 最寄駅:地下鉄名城線「黒川」駅)

4. 定員及び対象者

【定 員】各コース80名ずつ

【対象者】(1)社会福祉法人で会計実務担当職員(初任者及び初級者)及び経営に携わる方
(2)その他、施設長が推薦し、本会会長が認めた職員

5. 参加費

テキスト代: 2,000円

※Aコースはテキストを使用します。下記テキストをお持ちの方は、参加費が無料となりますので、ご持参ください。お持ちでない方は、当日購入していただきます。

テキスト『詳しい社会福祉法人会計の基礎と実践—予算の立て方から決算まで—』

(田中育雄／吉野縫子著:ゆいぽおと発行)

6. ねらい

Aコースは、会計実務担当職員のうち初任者・初級者向けに、簿記の一巡や日常処理の仕訳等、社会福祉法人の会計実務の基礎を学びます。

Bコースは、経営に携わる方に向け、社会福祉法改正に伴う会計事務について、とりわけ法改正後初めての決算実務の注意点などを学びます。

裏面へ続きます

7. 日 程

9:30 10:00

12:00 13:00

16:00

受 付	【A コース…会計実務担当者(初任者・初級者)】 「社会福祉法人の会計実務の基礎」	休 憩	【A コース…会計実務担当者(初任者・初級者)】 「社会福祉法人の会計実務の基礎」
	【B コース…経営に携わる方】 「社会福祉法改正に伴う会計事務の注意点」		【B コース…経営に携わる方】 「社会福祉法改正に伴う会計事務の注意点」

※開始 5 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

平成 29 年 5 月 10 日 (水)

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。(<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>)

名古屋市社協 と 在宅福祉部 で検索。

詳細は別紙「申込方法のご案内」をご覧ください。

※5 月 15 日 (月) までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」を F A X で通知いたします。

9. その他(注意事項等)

- (1) 申込時に、受講コース (A : 実務担当職員向け、B : 経営に携わる方向け) を
お選びください。
- (2) 当日電卓が必要となります。
- (3) 本研修は、名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会との共催となります。
- (4) 本研修は、名古屋市保育企画室の所管法人にもご案内しております。

「タイムマネジメント研修」開催要領

研修番号
3

1. テーマ

「タイムマネジメント研修」

2. 講師

株式会社日本マネジメント協会 杉山 由布子 氏

愛知医科大学消化器外科医局に入局。院内コミュニケーターとして院内情報管理の統括や新人育成、学会運営に携わる。

平成22年 オフィス・プランナーを設立、家事代行・育児支援サービス事業の運営を行う。

平成25年 介護福祉関連事業の立ち上げ支援、200回を超える企業内研修等を担当。

平成28年 一般社団法人アクトランスプロを設立

同年 日本マネジメント協会(中部)専任講師に就任

分かりやすく・明るく・親しみやすい受講者の立場に立った研修を官公庁等で多数実施している。

3. 開催日時及び会場

【日 時】平成29年6月15日(木) 午前10時～午後4時

【会 場】名古屋市高齢者就業支援センター 5階 大会議室

（名古屋市昭和区御器所通3-12-1 御器所ステーションビル5F
最寄駅:地下鉄 鶴舞線・桜通線「御器所」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】110名

【対象者】障がい福祉施設および高齢者福祉施設に勤務する職員で
採用後おおむね1～2年の職員

5. ねらい

毎日多くの業務に追われ、時間外に仕事をまわしてしまうことも珍しくはない。そこでタイムマネジメントを学び、その重要性を理解し、限られた時間の中で出来るだけ無駄のない業務の進め方をしていくには、何を意識し、どう行動していけばよいかを理解し、実際の行動変容にまで繋げる。

6. 日 程

9:30	10:00	12:00	13:00	16:00
受付	講義・演習	休憩	講義・演習	

※一部内容を変更する場合があります。

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

裏面へ続きます

7. 申込期限

平成29年5月10日（水）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。(<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>)

名古屋市社協 と 在宅福祉部 で検索。

詳細は別紙「申込方法のご案内」をご覧ください。

※5月15日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

「介護技術研修Ⅰ」開催要領

研修番号
4

1. テーマ

「清潔・入浴介助研修」

2. 講師

日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科学科長 高木 直美 氏

＜プロフィール＞日本福祉大学中央福祉専門学校において学生指導を行うほか、愛知県内で開催される現任介護職員研修、介護技術講習会、初任者研修など多くの研修で指導実績をも

日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科専任教員 板部 美紀子 氏

＜プロフィール＞病院での看護師勤務、日本福祉大学社会福祉総合研修センター専任講師等を経て現職。愛知県内で開催される現任介護職員研修、介護技術講習会、初任者研修など多くの研修で指導実績をもつ。

3. 開催日時及び会場

【日 時】平成29年6月16日（金） 午前10時～午後4時

【会 場】日本福祉大学中央福祉専門学校 201教室・介護実習室

（中区千代田3-27-11 最寄駅：地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅・JR中央線「鶴舞」駅）

4. 定員及び対象者

【定 員】40名（原則、1施設につき1名）

【対象者】障がい者福祉施設および高齢者福祉施設に勤務する職員

5. ねらい

利用者の身体を清潔に保つことは健康維持に大変重要であり、入浴介助は介護職員にとって欠かせない技術である。しかし、羞恥心を伴う行為であるため、尊厳についても配慮しなければならない。

そこで、入浴介助に必要な基礎知識と基本動作やその手順について学び、入浴介助をする側と、される側を体験することで、利用者の気持ちを理解するとともに、介助のポイントを習得する。

6. 日 程

9:30	10:00	12:00	13:00	16:00
受付	講義	休憩・更衣	・演習「清拭および入浴介助」 ・グループワーク	

※男女別のグループで清拭介助と入浴介助の介護者・利用者を体験します。

清拭…全員が介護者・利用者体験

入浴…利用者体験は一部の方のみ

裏面へ続きます

※当日、グループから入浴利用者を選出いたします。全員体験は不可ですのでご了承ください。念のため全員水着のご準備をお願いします。

※演習の服装・身だしなみ

- ・ Tシャツ
- ・ ジャージ下（長ズボン）
- ・ **介護実習室用上履き（スリッパ、ビーチサンダル不可）**
- ・ アクセサリー着用不可
- ・ 爪は短くしてください
- ・ 長い髪は束ねてください

※体調不良、皮膚のトラブル等で演習ができない場合、当日、講師とご相談ください。

7. 持ち物

【入浴利用者の準備】

- ・ 水着（ワンピース型、セパレート型のどちらでも可。無い場合は、キャミソールまたはタンクトップと短パンでも可（ハーフパンツ不可））
- ・ **入浴実習用上履き（清潔なゴム底のビーチサンダルなど）**
- ・ シャワーキャップ（髪が濡れる場合があるので必要に応じて）

【その他】

- ・ バスタオル 2 枚
- ・ フェイスタオル 2 ～ 3 枚
- ・ ハンドタオル 1 枚
- ・ ビニール袋（濡れた服やタオルを入れるもの）
- ・ ぞうきん 1 枚
- ・ 筆記用具

※必要に応じて予備の衣類・下着・靴下

8. 申込期限

平成29年5月10日（水）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページからお願いします。<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>

名古屋市社協 と 在宅福祉部 で検索。

詳細は別紙「申込方法のご案内」をご覧ください。

※5月15日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

9. その他(注意事項等)

- (1) 開始5分前から注意事項等の説明を行います。
- (2) 昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。
- (3) 研修会場は及び周辺は、全館禁煙です。
- (4) 研修会場には専用駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しください。
- (5) 昼食は各自でおとりください（会場での飲食は可能です）。

「救急救命研修Ⅰ」開催要領

研修番号
5

1. テーマ

「救急法について学ぶ
～ “もしも” のための応急手当（普通救命講習）～」

2. 講師

名古屋市救急救命研修所 応急手当研修センター 指導員

3. 開催日時及び会場

【日 時】平成29年6月23日（金） 午前9時～午後0時

【会 場】昭和消防署 4階 応急手当研修センター

（昭和区御器所通2-16-1 最寄駅：地下鉄鶴舞線・桜通線「御器所」駅）

4. 定員及び対象者

【定 員】30名（原則、1施設につき1名）

【対象者】障がい福祉施設および高齢者福祉施設に勤務する職員

5. 参加費

200円

※心肺蘇生法実技における人工呼吸の際に使用する感染防止用補助具『キューマスク』代となります。研修当日の受付時に徴収させていただきますので、お釣りのないようにご用意ください。

6. ねらい

施設の利用者が安心して生活できるよう、不慮の事故などに対する緊急対応や、傷病者が発生した場合の応急手当を学ぶ。具体的なプログラムは、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の取扱方法、異物除去法や止血法といった方法に関する知識・技術について実技を通して実践的に学ぶことにより、万一の場合に適切な対応ができるよう自己資質の向上を図る。

7. 日程

8:45 9:00 12:00

受付	講義・実技 「救急法について学ぶ」
----	----------------------

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※適宜休憩を設けます。

裏面へ続きます

8. 申込期限

平成29年5月10日（水）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。(<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>)

名古屋市社協 と 在宅福祉部 で検索。

詳細は別紙「申込方法のご案内」をご覧ください。

※5月15日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

9. その他(注意事項等)

- (1) 本研修は消防署が行う「普通救命講習」と同一内容で、修了証が発行されます。
既に名古屋市消防局発行の「普通救命講習」修了証をお持ちの方は、研修会場に
お持ちいただき、受付時にご提出ください。
- (2) 実技に備えて、多少汚れても構わない、運動しやすい服装（スカート等不可）を
し、運動靴等のかかとの低い靴でお越してください。また、髪の長い方は結束する
などして、実技に支障のないようにしてください。
- (3) 欠席の場合は、必ずご連絡ください。（連絡先TEL：745-6660）また、遅刻や早退を
された場合は修了証が発行されませんので、ご注意ください。
- (4) 研修会場には専用駐車場がありませんので、公共交通機関でお越してください。

「ファシリテーション研修」開催要領

研修番号
6

1. テーマ

「ファシリテーション研修」

2. 講師

株式会社日本マネジメント協会 中小企業診断士 宇井 克己 氏
トヨタ自動車や自動車メーカーへの営業・海外営業を担当し、お客様第一主義を徹底的に学ぶ。
その後社団法人中部産業連盟勤務を経て、平成20年 株式会社ナレッジ・プラクティス・コンサルティングを法人化 代表取締役社長に就任。
平成25年 株式会社日本マネジメント協会(中部)経営コンサルタントに就任。
民間企業や官公庁で講演・セミナーを年間145日、コンサルタントは年間102日開催(2015年実績)。現在も精力的に講演・セミナー等を開催している。

3. 開催日時及び会場

【日 時】平成29年6月26日(月) 午前10時～午後4時

【会 場】名古屋市高齢者就業支援センター 5階 大会議室

(名古屋市昭和区御器所通3-12-1 御器所ステーションビル5F
最寄駅:地下鉄 鶴舞線・桜通線「御器所」駅)

4. 定員及び対象者

【定 員】60名

【対象者】障がい福祉施設および高齢者福祉施設に勤務する職員

5. ねらい

会議では結論までに時間がかかるといったことや、発言が少ない等がよく問題となる。
そこでファシリテーション研修を通して職場のミーティングを活性化するうえで求められる、「対話の場づくり」、「合意形成」「会議における効果的・効率的な運営」等の技術を含めたファシリテーション能力の向上を図る。

6. 日 程

9:30	10:00	12:00	13:00	16:00
受付	講義・演習	休憩	講義・演習	

※一部内容を変更する場合があります。

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

裏面へ続きます

7. 申込期限

平成29年5月10日（水）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。(<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>)

名古屋市社協 と 在宅福祉部 で検索。

詳細は別紙「申込方法のご案内」をご覧ください。

※5月15日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

「デイサービスセンター職員研修」開催要領

研修番号
7

1. テーマ

「生活リハビリ研修」

2. 講師

松本リハビリ研究所 理学療法士 松本 健史 氏

＜プロフィール＞理学療法士、介護支援専門員、社会福祉学修士

大阪生まれ。関西大学法学部卒業。阪神大震災の経験後リハビリの道へ。2000年九州リハビリテーション大学卒業。2004年より NPO 法人丹後福祉応援団に勤務。2014年より、本の出版、研修事業の「松本リハビリ研究所」を設立。これからの超高齢者社会で活躍できる「生活リハビリの達人」養成研修が話題。

著書に『生活リハビリ術』（ブリコラージュ）、『認知症介護『その関わり方間違いです！』（関西看護出版）、『拘縮対応ケアハンドブック』（ナツメ社）、『間違いだらけの生活機能訓練改善授業』（日総研）がある。

3. 開催日時及び会場

【日 時】平成29年6月28日（水） 午前10時～午後4時

【会 場】名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター 研修室

名古屋市昭和区阿由知通3-19 昭和区役所庁舎7階
最寄駅：地下鉄鶴舞線・桜通線「御器所」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】60名

【対象者】デイサービスセンター職員

5. ねらい

デイサービス職員として必要な、からだのしくみと生体動作の基礎的知識を身につけ、解剖学・生理学・運動学に基づいたリハビリテーションを学ぶ機会とする。

6. 日 程

9:30	10:00	12:30	13:30	16:00
受付	講義・演習	休憩	講義・演習	

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※適宜休憩を設けます。

裏面へ続きます

7. 申込期限

平成29年5月10日（水）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>

名古屋市社協 と 在宅福祉部 で検索。

詳細は別紙「申込方法のご案内」をご覧ください。

※5月15日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

「新任職員基礎研修」開催要領

研修番号
8

1. テーマ

「新任職員としての心構えとは
～新任職員に求められる役割とコミュニケーションの重要性を学ぶ～」

2. プログラム及び講師

【第1部（講義）】 10:00 ～ 12:00

テーマ 「仕事に人権感覚を生かす」

講 師 岐阜県人権懇話会会長 藤田 敬一 氏

＜プロフィール＞1939 年生まれ。学生時代に部落問題（同和問題）を学び、部落解放運動に加わる。岐阜大学において人権教育に携わり、退職後も岐阜県人権懇話会会長等を務めると共に、多くの講演、執筆・編集活動を通し、豊かな人権感覚の広がりや深まり、「響き合い、重なり合う」感性、人間らしい人と人との出会いとつながりが不可欠と訴え続けている。
※「藤田敬一ホームページ(<http://www.h7.dion.ne.jp/~k-fujita>)」より一部引用。

【第2部（講義・演習）】 13:00～14:30

テーマ 「新任職員に求める役割 コミュニケーションの重要性」

講 師 株式会社パス・プランナー・ジャパン

代表取締役/福祉人材育成コンサルタント 横山 淳博 氏

＜プロフィール＞平成26年9月（株）パス・プランナー・ジャパン設立、代表取締役に就任。企業の障害者雇用コンサルタント、福祉事業所の福祉人材育成コンサルタントとして、これまでの現場経験を活かし、面談スペシャリストとしてスタッフの面談を通し ES(従業員満足度)の向上を図り、スタッフの定着とその先にある CS(顧客満足度)の向上につなげる事を行っている。企業への障がい者雇用の環境づくりや、福祉事業所でのスタッフのキャリアビジョンが描ける環境づくりを目指している。

【第3部（講義・演習）】 14:45 ～ 16:00

テーマ 「先輩職員から学そぶ～新人職員に期待される役割とは～」

講 師 社会福祉法人なごや福祉施設協会

デイサービスセンター橋本 所長 吉澤 和晃 氏

なごやかハウス野跡 ケア統括長 川原 めぐみ 氏

なごやかハウス希望ヶ丘 柴田 哲 氏

なごやかハウス丸池 ケア統括長 栗下 泰生 氏

株式会社パス・プランナー・ジャパン

代表取締役/福祉人材育成コンサルタント 横山 淳博 氏

裏面へ続きます

3. 開催日時及び会場

【日 時】 平成29年6月30日（金） 午前10時～午後4時
 【会 場】 名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室・研修室
 （名古屋市北区清水4-17-1 最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅）

4. 定員及び対象者

【定 員】 110名（高齢者福祉施設55名、障がい福祉施設55名）
 【対象者】 高齢者福祉施設および障がい福祉施設に勤務する新任職員
 （採用後おおむね1年未満の職員）

5. ねらい

新任職員の一人ひとりが、福祉従事者として自覚することは、福祉サービス利用者へより質の高い支援を行う基盤となる。

本研修では、権利擁護を理解することで、新任職員として資質向上を図る機会とする。さらに、先輩職員の話聞くことで、新任職員としての心得や役割を学ぶ。

6. 日 程

9:30 10:00		12:00 13:00		14:30 14:45		16:00
受	第1部 「仕事に人権感覚を 生かす」	昼 休 憩	第2部 「新任職員に 求められる役割」	休 憩	第3部 「先輩職員から学ぶ」	

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。 ※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

平成29年5月10日（水）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
 お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 在宅福祉部 で検索。

詳細は別紙「申込方法のご案内」をご覧ください。

※5月15日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
 「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

「コーチング研修」開催要領

研修番号

9

1. テーマ

「コーチング技法～部下や後輩のやる気を引き出すために～」

2. 講師

株式会社コーチング・システムズ

取締役・国際コーチ連盟（ICF）プロフェッショナルコーチ 稲垣 友仁 氏

金沢大学教育学部卒業後、三重県公立中学校教諭、小学校教諭を経て、三重県教育委員会へ
 出向。その後、14年間勤めた公務員を退職し、教職公務員からプロコーチへの転職第1号と
 なる。日本にコーチングが導入された97年からコーチングを導入し、これまでに500人以上
 の子ども・親に対してコーチングを行なってきた。教育現場を熟知した本格コーチとしては、
 国内随一の実績を誇る。現在では、各都道府県教育委員会・行政機関・各教育現場に対してコ
 ーチングの講演・導入アドバイザーとしても活動中。講演・プロデュース数は年に100本を越
 え、10,000人以上の教育者・学生達に対してコーチングを伝えている。2007年・2008年三重
 県教育委員会「教育コーチング推進アドバイザー」国立宇都宮大学大学院工学研究科非常勤
 講師「共創コーチング特論」を担当。

3. 開催日時及び会場

【日 時】平成29年7月3日（月） 午前10時～午後4時

【会 場】名古屋市高齢者就業支援センター 大会議室

（名古屋市昭和区御器所通3-12-1 御器所ステーションビル5F
 最寄駅：地下鉄 鶴舞線・桜通線「御器所」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】110名

【対象者】障がい福祉施設および高齢者福祉施設に勤務する経験年数3～5年の職員

5. ねらい

会議では結論までに時間がかかるといったことや、発言が少ない等がよく問題となる。

そこでファシリテーション研修を通して職場のミーティングを活性化するうえで求め
 られる、「対話の場づくり」、「合意形成」「会議における効果的・効率的な運営」等の技術
 を含めたファシリテーション能力の向上を図る。

裏面へ続きます

6. 日 程

9:30 10:00 12:00 13:00 16:00

受 付	講義・演習	休 憩	講義・演習
--------	-------	--------	-------

※一部内容を変更する場合があります。

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

平成29年5月10日（水）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。(<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>)

名古屋市社協 と 在宅福祉部 で検索。

詳細は別紙「申込方法のご案内」をご覧ください。

※5月15日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

「知的障害研修」開催要領

1. テーマ

「知的障害者の意思決定支援、特性を捉えた相談支援」

2. 講師

長野県北信圏域障害者生活支援センター所長 日本相談支援専門員協会 顧問
相談支援専門員 福岡 寿 氏

＜プロフィール＞東京大学文学部卒業。中学校教師を経て、知的障害者更生施設長峯学園指導員、地域療育拠点施設事業 コーディネーターを務め、現在は、社会福祉法人高水福祉会 参与、北信圏域障害者生活支援センター 所長。長野県自立支援協議会会長、長野県地域支援力向上スーパーバイザー、長野県発達障がい者支援対策協議会支援体制部会長の他、日本相談支援専門員協会 顧問や厚生省発達障害、重症心身障害児者の地域生活モデル事業検討委員等。

＜著書＞

『施設と地域のあいだで考えた』（1998 年 ぶどう社）、『発達障害の子がいる保育園での 集団づくり クラスづくり』（2013 年 筒井書房）以上単著。『コーディネーターが開く地域福祉』（2002 年 ぶどう社）編著 他多数

3. 開催日時及び会場

【日 時】平成29年7月6日（木） 午前10時～午後4時

【会 場】名古屋市医師会館 6階 講堂

（名古屋市東区1-4-38 最寄駅：地下鉄名城線「新栄町」駅）

4. 定員及び対象者

【定 員】90名

【対象者】（1）障がい者福祉施設に勤務する職員

（2）その他、施設長が推薦し、本会会長が認めた職員

5. ねらい

専門職として知的障がいの特性について理解を深めるとともに当事者のニーズを把握し、それに沿った支援方法、家族の思いへの理解を深める。

また、個別支援計画への落とし込みやモニタリング等についても学ぶ。

6. 日 程

9:30	10:00	12:00	13:00	14:30	14:45	16:00
受付	講義・演習 障がいの重い方、知的障がい者の 意思決定支援について	休憩	講義 知的障がい者の地域生 活支援と家族支援	休憩	演習 Q & A	

※昼食休憩 1 時間、その他適宜休憩を設けます。

※ 5 分前から注意事項等をご連絡いたします。

裏面へ続きます

7. 申込期限

平成29年5月10日（水）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。(<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>)

名古屋市社協 と 在宅福祉部 で検索。

詳細は別紙「申込方法のご案内」をご覧ください。

※5月15日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

「労務管理研修」開催要領

1. テーマ

「社会福祉施設における労務管理と法律制度
～適切な労務管理のためのケーススタディ・Q&A～」

2. 講師

一般社団法人名古屋労働基準協会 事務理事・事務局長
特定社会保険労務士・RST トレーナー 市之瀬 高司 氏

3. 開催日時及び会場

【日 時】平成29年7月10日（月） 午前10時～午後4時

【会 場】名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター 研修室

（昭和区阿由知通3-19 昭和区役所庁舎7階）
（最寄駅：地下鉄鶴舞線・桜通線「御器所」駅）

4. 定員及び対象者

【定 員】60名

【対象者】障がい者福祉施設および高齢者福祉施設に勤務する
管理者、人事・労務事務担当者

5. ねらい

近年では施設経営環境の変化に伴い、常勤や非常勤、パート勤務といったさまざまな雇用形態があり、労働時間管理や就業管理もこれまで以上に煩雑になっている。そこで、福祉施設の職場・職員に関する労務管理や法律制度の基本、さらに具体的な事例を元にしたケーススタディから適切な労務管理の方法について学び、職員が働きやすい良好な職場環境を整える方策について考える機会とする。

6. 日 程

9:30	10:00	12:00	13:00	16:00
受付	講義・演習 「福祉施設における 労務管理と法律制度」 「ケーススタディ・Q&A」	休憩	講義・演習 「福祉施設における 労務管理と法律制度」 「ケーススタディ・Q&A」	

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

裏面へ続きます

7. 申込期限

平成29年5月10日（水）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>

名古屋市社協 と 在宅福祉部 で検索。

詳細は別紙「申込方法のご案内」をご覧ください。

※5月15日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

「個別支援計画作成研修」開催要領

研修番号
12

1. テーマ

「利用者の『望む生活』を支援するための個別支援計画」

2. 講師

- 名古屋市総合リハビリテーションセンター 自立支援部長 鈴木 智敦 氏
- サービス管理責任者研修講師
 - ・活動センターねーぶる 施設長 江尻 覚 氏
 - ・森孝しぜんかん 施設長 上高 信明 氏
 - ・NPO法人こすもす畑 理事長 高橋 尚希 氏
 - ・株式会社パス・プランナー・ジャパン 代表取締役 横山 淳博 氏

3. 開催日時及び会場 ※基礎研修・フォローアップ研修の連続講座です。

【日 時】基礎研修 平成29年7月12日（水）午前10時～午後4時30分

フォローアップ研修 平成29年10月19日（木）午前10時～午後4時30分

【会 場】基礎研修 名古屋市総合社会福祉会館 大会議室

〔 名古屋市北区清水4-17-1 北区役所合同庁舎7F
最寄駅:地下鉄 名城線「黒川」駅 〕

フォローアップ研修 名古屋市高齢者就業支援センター 大会議室

〔 名古屋市昭和区御器所通3-12-1 御器所ステーションビル5F
最寄駅:地下鉄 鶴舞線・桜通線「御器所」駅 〕

4. 定員及び対象者 ※基礎研修・フォローアップ研修の両日に必ず受講できる方に限ります。

【定 員】80名

【対象者】(1)障がい福祉施設に勤務するサービス管理責任者
(2)その他、施設長が推薦し、本会会長が認めた職員

5. ねらい

基礎研修では、個別支援計画作成するうえで必要不可欠な制度の最新情報及び今後の動向を把握するとともに、利用者の「望み」「生活」を支援するためには、サービス管理責任者としてどのような視点が必要か、身につけておくべきスキルを学びます。そして、個別支援計画作成の基本的な流れや、個々の利用者に対する「ニーズの把握」、「課題の整理」、「ストレングス」などを総合的にアセスメントし、目標を設定していく「過程」の大切さを再確認していきます。

併せて、フォローアップ研修までの期間に、自らが所属する事業所において研修で学んだことを活用しながら課題に取り組み、フォローアップ研修では、課題の報告とスーパービジョンについて学ぶことで、さらなるスキルアップを目指します。

6. 日 程

基礎研修：平成29年7月12日（水）

9:30 10:00		11:00	12:00 13:00	16:30
受付	講義「障がい者福祉制度の最新情報と今後の動向」	講義「アセスメントのポイント」「サービス管理責任者に求められるスキル・視点」	休憩	演習「本人中心の個別支援計画をつくってみましょう」

フォローアップ研修：平成29年10月19日（木）

9:30 10:00		12:00 13:00	16:30
受付	「実際の個別支援計画から学ぶ」 「サービス管理責任者が行うスーパービジョン」	休憩	演習 「支援計画のブラッシュアップ」 「サービス管理責任者同士のディスカッション」

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。 ※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

平成29年5月10日（水）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。 (<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>)

名古屋市社協 と 在宅福祉部 で検索。

詳細は別紙「申込方法のご案内」をご覧ください。

※5月15日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

8. その他(注意事項等)

本研修は受講決定者に対し、事前レポートを設けます。

詳細は「受講決定のお知らせ」に記載いたしますので、受講が決定された方はご確認ください。

「救急救命研修Ⅱ」開催要領

研修番号
13

1. テーマ

「救急救命について学ぶ
～ “もしも” のための応急手当（普通救命講習）～」

2. 講師

名古屋市救急救命研修所 応急手当研修センター 指導員

3. 開催日時及び会場

【日 時】平成29年7月24日（月） 午前9時～午後0時

【会 場】昭和消防署 4階 応急手当研修センター

（昭和区御器所通2-16-1 最寄駅：地下鉄鶴舞線・桜通線「御器所」駅）

4. 定員及び対象者

【定 員】30名（原則、1施設につき1名）

【対象者】障がい福祉施設および高齢者福祉施設に勤務する職員

5. 参加費

200円

※心肺蘇生法実技における人工呼吸の際に使用する感染防止用補助具『キューマスク』代となります。研修当日の受付時に徴収させていただきますので、お釣りのないようにご用意ください。

6. ねらい

施設の利用者が安心して生活できるよう、不慮の事故などに対する緊急対応や、傷病者が発生した場合の応急手当を学ぶ。具体的なプログラムは、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の取扱方法、異物除去法や止血法といった方法に関する知識・技術について実技を通して実践的に学ぶことにより、万一の場合に適切な対応ができるよう自己資質の向上を図る。

7. 日程

8:45 9:00 12:00

受付	講義・実技 「救急救命について学ぶ」
----	-----------------------

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※適宜休憩を設けます。

裏面へ続きます

8. 申込期限

平成29年5月10日（水）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。(<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>)

名古屋市社協 と 在宅福祉部 で検索。

詳細は別紙「申込方法のご案内」をご覧ください。

※5月15日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

9. その他(注意事項等)

- (1) 本研修は消防署が行う「普通救命講習」と同一内容で、修了証が発行されます。
既に名古屋市消防局発行の「普通救命講習」修了証をお持ちの方は、研修会場に
お持ちいただき、受付時にご提出ください。
- (2) 実技に備えて、多少汚れても構わない、運動しやすい服装（スカート等不可）を
し、運動靴等のかかとの低い靴でお越してください。また、髪の長い方は結束する
などして、実技に支障のないようにしてください。
- (3) 欠席の場合は、必ずご連絡ください。（連絡先TEL：745-6660）また、遅刻や早退を
された場合は修了証が発行されませんので、ご注意ください。
- (4) 研修会場には専用駐車場がありませんので、公共交通機関でお越してください。

「サービス等利用計画作成研修Ⅰ」開催要領

研修番号
14

1. テーマ

「利用者の生活全体を支援するために
～サービス等利用計画の役割を知り、作成時の必要な視点を確認する～」

2. 講師

愛知県相談支援専門員協会 代表理事・日本相談支援専門員協会 理事
蒲郡市社会福祉協議会 蒲郡市障がい者支援センター センター長
鈴木 康仁 氏

＜プロフィール＞立教大学法学部卒。繊維製造会社を経て、1994年より社会福祉法人岩崎学園に就職。同法人が運営する岩崎通勤寮、豊橋障害者就業・生活支援センターにて、障害者の就労支援、生活支援に従事。07年より蒲郡市社会福祉協議会に移り現職。基幹相談支援センターをはじめ、虐待防止センター、自立支援協議会事務局、計画相談支援、障害児相談支援、地域移行支援、指定地域定着支援を、また就労継続B型、地域活動支援センター、などの日中活動関連事業など、幅広く展開している。社会福祉士・相談支援専門員

3. 開催日時及び会場

【日 時】平成29年7月31日（月） 午前10時～午後4時30分

【会 場】名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター 研修室

（昭和区阿由知通3-19 昭和区役所庁舎7階）
最寄駅：地下鉄鶴舞線・桜通線「御器所」駅

4. 定員、対象者及び受講条件

【定 員】50名

【対象者】相談支援事業所に従事する相談支援専門員

5. ねらい

サービス等利用計画は、課題分析により明らかになった生活ニーズをもとに、サービスの方向性と目標を明確にすることを目的に作成され、利用者の生活全体を支援するための共通の羅針盤となる。

計画作成を通じて利用者の希望する生活や利用者が自立した日常生活を営むことができるように、支援する上で解決すべき課題をどのようにとらえるかを考え、利用者の自己実現を支援するために社会資源およびサービスを上手に組み込むことができるスキルを身につける場とする。

6. 日 程

9:30	10:00	12:00	13:00	16:30
受付	講義「利用者への生活支援、自立支援とは？」 「私たちに求められるスキル・視点」	休憩	演習「サービス等利用計画 作成の実際」	

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。※適宜休憩を設けます。

※プログラムにより若干時間を変更する場合がございます。

7. 申込期限

平成29年5月10日（水）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。(<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>)

名古屋市社協 と 在宅福祉部 で検索。

詳細は別紙「申込方法のご案内」をご覧ください。

※5月15日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

8. その他(注意事項等)

本研修は受講決定者に対し、事前レポートを設けます。

詳細は「受講決定のお知らせ」に記載いたしますので、受講が決定された方はご確認
ください。